

5号より新聞名をデジタル希望新聞と改名させて頂きました。

TV BOXは 人生の必需品!



私は昨年6月に、小山さんからデジタル教室に参加しないかとお声を掛けて貰いました。コロナ禍で集まる事が出来ずに、会合等はほとんどリモート、挙句に携帯電話の調子が悪かった頃でしたので、寺田さんの講義をお聞きして、家にネットの固定回線が必要な事が解りました。それから間もなく格安スマホに替え、無料で固定回線も引く事が出来、10数年ぶりにパソコンも買い替えました。その時、寺田さんに自宅まで来て貰い5-6時間もかけて設定をして頂きました。本当に感謝しています。主人と一緒にその作業を見ていましたが、コンピューターに関する豊富な知識には驚かされました。

続いて講義の度に何度もお話を聞いているTV BOXの機器一式をネットで購入し、小山さんの息子さんに取り付けて貰いました。それが届いた時に、何の説明書も無い為、簡単に取り付けられると思い込み、主人がすぐに箱を開けようとしたのですが、慌てて止めました。解らないのに勝手にやっていたら、今頃は使い物になっていなかったと思います。今ではTV BOXでYouTubeや映画などを自宅で観たり聴いたりして、少しでも楽しい老後の人生が送れる様、今から準備しています。嬉しい事に、このTV BOXのお陰で、遠くに住む両親や、コロナの最前線で戦っている息子家族とも、大きなテレビの画面で会う事が出来、「じーじ、ばーば」と言われて楽しい時間が持てる様になりました!本当に取り付けて良かったと感謝しています。最後にこのTV BOXの取り付けが出来るサブリーダーとなる事を目指して、これからも頑張っ参ります! 【H. A】



12月10日我が家にTV BOXが設置されました。一緒にFire TV stick 2つ、Bluetoothイヤホンも購入しました。私はパソコンがあるし、当分必要ないと思っていたのですが、一足先に設置した妹(阿部洋子)宅のテレビを見るとそこには4K・43型のテレビに大きなパソコン画面、そしてスマホ画面が広がっていました。2020年9月上野満恵さんにデジタル教室の存在を聞き、47回目から参加した教室では寺田先生が毎回毎回「携帯ショップには行くな!」と「TV BOX」の話をするのです。これからのテレビは「見る、読む、聴く、話す、買い物など色々出来るのだからTV BOXを購入しましょう」と。3ヶ月悩んだ末に決断!我が家の2008年製のテレビは、何でも出来る輝くスーパーテレビに大変身しました!!この感動を伝えたいと私のTV BOXを木原宅の60型のテレビにつないでみると、さらに大きな画面が目の前に広がりました。感動した木原さんは「私これ(TV BOX)買います!」と即決。それからが凄かった。阿部サブリーダーの元、早速インターネット固定回線を『光』に変え、翌日には「増川さんも申込みしましょうよ」と二人だけで奮闘し、ネットで申し込み完了!「私たちにも出来た!!!!」と万歳と拍手をしました。次はスマホと4Kの60型のテレビを買うと決めた木原さんは自宅を開放し、ネットでの購入に挑戦。女性5人で7時間かけ、蜂谷さんはSIMを、そして木原さんのスマホの申込が完了した時には全員で万歳と拍手。やれば出来る!と少しずつ情報弱者から情報強者になっていくことを実感しています。高齢になっていくからこそ、デジタルをもっともっと学び、老後をより豊かに快適に過ごしていきたいと思えます。 【増川恵子】

学べばわかる! 女性は情報強者に!



「木原さん次は4Kの60型ね!」えっ!!

デジタル教室は2段階教育で飛躍

正月からデジタル教室の増え続ける人数、広がる参加レベルの格差をどうするか悩んでいた。2段階教育、リモート教室がその解決手段と考え再出発の船出となった。2段階教育とは、IT経験のない高齢者が高齢者を教える仕組みで苦肉の策だ。IT経験があったとしても昔のIT技術では現代のITリテラシーに答えられるか疑問だし、ましてやIT技術があったとしても教育経験のある人は少ない。つまりゼロから情熱のある高齢者を育て上げるしかない。冒険的な手段だ。しかしこの方法でも良い点がある。それは人生経験があり、IT未経験の高齢者同士で教えあうので相手の気持ちが良く解る事だ。これが一番大切だと思う。暗い闇の中で、わずかな灯が最近見え始めた。デジタル教室を積極的にNPO法人化する人材が出て来た事だ。わずかな灯だが大切にして、2段階教育で多くの高齢者を教育出来る仕組みを完成させたい。 【寺田雅史】